

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	扶桑工業神南辺工場新築工事	階数	地上2F
建設地	大阪府堺市堺区神南辺町六丁153番	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	0時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 0.0	評価の実施日	2014年4月11日
敷地面積	25,321 m <sup>2</sup>	作成者	ArchiLab一級建築士事務所
建築面積	7,060 m <sup>2</sup>	確認日	2014年4月11日
延床面積	12,731 m <sup>2</sup>	確認者	オヴオー一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 73%  
③上記+②以外の 73%  
④上記+ 73%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.5

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項	
総合	工業専用地域に立地する生産施設に求められる性能・機能・基準を考慮し、敷地内外の工場建築群の中に溶け込み良好な環境を生み出すよう配慮した。
その他	特になし
Q1 室内環境	対象外
Q2 サービス性能	生産施設として求められる耐久性等を考慮し、維持管理が容易に出来るように配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	工業専用地域に建設する建物として定められた基準等を遵守し、植栽面積の確保等により周辺環境及び敷地内の環境への配慮を行う。
LR1 エネルギー	照明器具には全てLEDを採用することにより省エネルギーに配慮した計画としている。
LR2 資源・マテリアル	鉄骨の躯体と鋼板外壁の採用によりリサイクルに配慮した計画としている。
LR3 敷地外環境	工業専用地域に建設する建物として定められた基準等を遵守し、植栽面積の確保等により周辺環境及び敷地内の環境への配慮を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	扶桑工業(株)神南辺工場	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区神南辺町六丁153番1	1	B+
	主用途/延床面積	工場 / 12,730.96 m <sup>2</sup>		

## 2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

## 3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO <sub>2</sub> 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		4.0	4
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	0.0	3
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		0.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		3.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		5.0	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		3.0	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		2.2	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		0.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

## 4. その他

技術の名称	考慮事項

## 特に配慮した事項

工業専用地域に立地する生産施設に求められる性能・機能・基準を考慮し、敷地内外の工場建築群の中に溶け込み良好な環境を生み出すよう配慮した。